

## スジグロチャバネセセリ

澄川森林の苗圃でミズナラの稚樹に止まっているセセリチョウに出会いました。ゲットした画像の記録は 2015 年 7 月 19 日(日)12 時 22 分でした。

愛用の図鑑「札幌の昆虫」で調べましたが、わかりません。キマダラセセリもしくはヘリグロチャバネセセリかなとも思いましたが、自信がありません(スジグロチャバネセセリは掲載されていません)。「フィールド図鑑チョウ」(東海大学出版会)でスジグロチャバネセセリに該当するとみましたが、分布が北海道でも南部とされているので同定するのに躊躇していました。最近ネットで検索してみたら、富良野で確認されていたので、澄川にいてもおかしくないの、自信をもって同定いたします。しかし、確認された例が少なく、珍種なのであります。

セセリチョウたちは大きさは中型、ご覧のとおりずん胴で胴長は 20 mm 弱です。この蝶の分布は北海道の一部と日本列島で、海外ではロシア極東、中国、朝鮮半島のようなようです。食草はイネ科の植物カモジグサ、キツネガヤ、クサヨシとのこと。これらの植物は路傍や林縁の雑草に混じってしばしば見かけます。しかし、この蝶は日本各地でレッドデータにいれられ絶滅危惧種のようなようです。草刈り機が普及して、路傍の食草たちが刈払われてしまうことも一因でしょう。われわれも駐車場広場や基地物置周辺の雑草たちを目の敵にして、頻りに刈払っていますが、これらを食草にしている多くの虫たちにとっては人間はまさに天敵でありますな。すべて物事は程々がよろしいようです。

この日、土日ボランティア活動に参加の呼びかけに応じて、小樽から青年姉弟 1 組の参加がありました。

